

色んな経験をさせてもらえたから、高校時代に後悔

はない。全部やっておいて良かった

語り手 中島綾香（高校十二期生 税理士事務所）

聞き手 加守田茉季

*

高校時代の経験

— 久しぶりに学校に来てどうですか。

私、実は去年の文化祭にも来て。だからあまり期間は空いていないけど、久しぶりに普通の学校が見られて、すごく懐かしい。

— 文化祭では何をされましたか。

吹奏楽部に行ったのと、担任を持ってもらっていた先生の教室へ遊びに行った。あとは食べ物を食べたり、ぶらぶらしたり。

— 高校生の時、文化祭の役員をやらせていましたよね。

今も、三年生だけが市民ホールで劇をしているやん。当時も同じで、三年生の中から毎年市民ホール局長を一人決めるんだけど、それに私になった。三年生が市民ホールで劇をするための段取りを確認したり、市民ホールの方とやり取りをしたり、担任の先生方に連絡したり、二年生が決めてくれた全体の共有事項を各クラスに伝えたりとか、いろんなことをやっていたかな。

— すごい。なぜそれをやろうと思ったんですか。

元々私、生徒会に入っていなかったんだけど、二年生になる前くらいに、文化祭の運営の人手が足りなかったみたいで、「もしよかったら、手伝ってくれへん」って仲良かった子に誘われて。最初有志って形で入

っていたんだけど、元々そういうことをするのが好きだったから、そのまま入部を決めて、二年生から生徒会の活動をやった。そして、市民ホール局長を決めるタイミングで、「やってみてくれへんか」って声をかけてもらって、せっかく言ってもらったし、頑張ってみようかな、みたいな。

*

— 高校生の時に、ESS部に入部されていたと聞いたのですが、どんな活動をされていましたか。

基本は英語のゲームをして、がっつり真面目にというよりは、楽しみながら活動していた。英語ネイティブの先生と英語の先生が顧問でいてくれはって、外国のゲームとか、イースターやハロウィンなどの海外の行事を教えてもらったりとか。実際にイースターエッグを作って、学校中に隠して、みんなで探し回ったり、イベントも楽しんでいた。

— めっちゃ楽しそうですね。

スピーチの練習とかもしていたけど、英語使って楽しみたいな。あと、イーキュー部って言っていた。Eに3で「E3部」。

— なぜですか？

立方体とか、三辺をかけて体積を出すやん。Everyone Enjoys Englishで、Eが三つという意味と、体積の三にかけて。四角の立体はキューブっていうから「Eの3乗」でE3部。

— めっちゃ賢い。あと、ユネスコクラブにも入られていましたが、これも一年生から入部されていたのですか。

三年から。

— なぜ三年生で入ろうと？

ESS部の活動で、イースターエッグを作っていた時に、田辺先生か

らESS部の部長に話があるって声をかけられて。私は部長だったから、行ったら、合併の話とかやって。田辺先生からイベントとかの話を聞いて、面白そうやなと思って、参加した。東京にも行ったよ。

—そんなところにも行くんですか。

国際的な男女平等について高校生が考えるみたいなテーマで、自分たちで提案を作って。最初はプレゼンをしているビデオを送る感じだったけど、その後、立守が選考の八校に残って。

—すごい。

それで残れたから、東京まで行って、審査員の人や他校の子がいる前でプレゼンをするみたいな。

—すごい。

でも何人か一緒にやっていたからね、経験できてよかった。

*

—様々な活動をされていましたが、忙しかった時期に頑張るモチベーションはありましたか。

私、結構いろんなことに興味があるタイプで、やってみないかというお話をもらったりすると、やってみようかな、でやっちゃうタイプやから、忙しいのも嫌いじゃなくて。やっぱり忙しくて、もう手が回らへんとか言いながらも、みんなとわいわいやってる感じで。楽しみながらやっていたのは、一人じゃなかったから、それは大きかった。先生方も協力してくださったり、「職員室に一日何回来んねん」って言われそうなぐらい行ってた。ははは。

—ははは。やっぱり誰かとやるのが大切なんですかね。

そうやと思う。ありがたいことに、一緒にやってくれる人も周りにたくさんいてくれたから、それは大きかった。

*

—高校生から立守に入学されていますが、なぜ立守を選んだのですか。

近所に立守に行っていたお兄さんがいたから、立守の名前は知っています。中学三年生の夏休み中に、（中学校の進路学習の取り組みで）私立も公立も合わせて何ヶ所か、高校見学に行かないといけないって。立守を一番最初に見に来て、立守は施設は良いし、好きだった英語の体験授業を受けたら、中学の授業とは全然レベルが違って、すごいと思って。今もあるかな、映像や写真を、一人だけが見て、もう一人にその状況を全て英語で説明して、もう一人がその状況を絵で書き表すという授業を受けて。やったことない？

—やったことがあります。

そういうところが、めっちゃいいなって。そこに惹かれて、立守を受験することを決めた。

*

大学生活

—大学では、なぜ経済学部を選ばれたのですか。

手に職をつけたいなと思っていて、資格を何か取りたいなと。この仕事がしたいみたいな明確なもの wasn't だったんだけど。将来的に「お母さん」にはなりたいたいなと思って、でもそうしたら「産休・育休」を経験することになるから、やっぱり資格があるといいかなと思って。単純な理由なんだけだね。そんな思いで、進路を決めるときに見学で経済学部の授業を受けたのが結構面白くて。

—そうなんですか。

体験授業で、好きな授業を引き合せて。あ、面白そうやなって。資格も。簿記とか聞いたことある？

—ぼき？ 分からないです。

正式な経理・計算のための帳簿をつける資格のこと。お店とかを営
んでいたら、日々、売上が出てくるやん。それに必要な経費として、材
料費もあるし、飲食店だったら、水道代とかも発生するやん。そういう
ものを費用（経費）として上げて、最終的に利益がどれくらい出るか、
簿記の資格は、簡単にいうとそういった計算をするもの。経済学部で
は、そういった会計の資格が取れるし、公務員試験も取れるしといった
感じやっつて。法学部とかも見ていたけど、会計の方が興味あるなっつて思
って学部を選んだ。税理士って、聞いたことある？

—聞いたことがあります。

税理士の資格を持っていたら、カッコいいなっつて。親戚にもいた
から。その簿記の資格が前提みたいな感じだから、それもあって経済学
部に進むことを決めた感じかな。

—じゃあ、中学や高校では、はつきりとした夢は、決まっていなかった
ですか？

全然なかった。何がしたいかなっつてずっと思っていて。就職も最後ま
で悩んでいた。就職活動をしていた大学三回生の頃まで、いろんな業種
を見ていた。

＊

—大学生活で、サークルはやっていましたか。

サークルは、一回生の時に入っていた。まだ今ほどSDGsが知られ
ていなかったから、まずは大学内で知ってもらおうみたいな学生団体が
あって。BKCを地球と見立てて、大学で何ができるかを考える。一回
生の時は、コロナ禍だったから、オンラインでのイベントをたくさんし
てて、立命館大学の総長とZOOM対談もしたよ。ははは。YouTu

b e 生配信。

—ははは。生で話すんですか。

一対一じゃないけど、総長と学生が対談するイベントで、新入生とし
て。同じ学生団体に入っていた先輩や、四回生の理系の先輩、一年前ま
で海外のボランティアに参加していた先輩とかと。いろんなことをして
いた人たちが集まって対談した。今も残っているけど、YouTube
のイベントとかは、めっちゃやっていた。

—すごいです。

その学生団体に入ったのも、高校生の時に、田辺先生が、ユネスコク
ラブの関連で、大学からその学生団体の人たちを連れてきてくれはっ
つて。そこで知り合った人の話を聞いて、興味をもって。進学先がBKC
に決まったって言ったら、入りなっつて言っつて頂いて。四月入学だけど、
三月ぐらいから一緒に活動をして。

—フライングですよ、ははは。

先に知り合っていたからこそ、ちょっとフライングして、裏方をした
り、イベントを一緒にやったりしていた。

＊

今の職場で働くきっかけ

—いくつか内定をもらっつておられたとお聞きしましたが、なぜ今の職に
就こうと思ったのですか。

今、税理士事務所働いているんだけど、三回生までは公認会計士を
目指してダブルスクールをしたりと、勉強だけをしていたから、就職先
を決めるためにいろんな職業のことを知りたいと思っつて。業種とかは絞
らず、幅広くインターンとか説明会を夏休みに受けていた。まだZOOM
の説明会が多い学年だったけど、対面で参加したいと思っつて、「滋賀

県・対面」で検索したら、うちの事務所が出てきた。正直、最初は、税理士事務所だから勉強していたことも被るしなと思って興味を持っただけだったんだけど、実際行くと雰囲気良くて。採用の方が喋っておられるのとか、手伝いに来てくださった人とかの、雰囲気が好きだな感じだという印象が残っていたかな。その後も、経済学部だから、金融系だと、銀行や生命保険も見たし、全然違うけど、塾や製造も受けてみた。ちよつとでもいいなと思ったところは、さらに説明会や選考に進んでみたりしていた。いろんな会社を見た中でも、うちの事務所はちよつと特徴的やってん。社長が会社のことを直接話してくださる場面も多くて、社長自らそういうことをするのが面白く感じたこともあって、ここで働きたいなって思つてて。最終的に就職先を決めるときに気になるここへ行つてみようかなと。決め手は直接働いている人と話せたことが大きかったと思う。

*

現在

—今仕事は楽しいですか。
楽しいよ。

—どんなことをするんですか。

メインの仕事は、お客様のところに毎月お伺いして、今月の売上とか、経費はこういうのを使っていました、利益はこれくらいになりますということをお伝えしたり、来月の状況やお店の様子を聞いたりすること。資料もたくさん種類があつて、お客様によりわかりやすく現状をお伝えできるものを選んで用意している。税理士事務所だから、法律に関する話とかも多くて、法律の改正があつたときには、そのお客様にどのような影響があるのかをお伝えしたり、決算までに納税額の予測をした

上で節税になるような対策をご提案したりしている。他にもお客様の領収書やレシートを預かつて、パソコンに入力する時間もあつたりはする。最近、人が亡くなったときに必要な相続のお仕事もさせてもらっている。

—お金を振り分けるやつですか。

そうそう。遺産とかあつたら、誰に何を譲るとかっていう。ドラマとかでも見たことがあるかもしれないけど、実際に相続が起こった時には他の税法にはない特殊なこともやらないといけない。そうした仕事を担当する部署にも所属している。亡くなられてから、どれだけ土地とか建物を持っていますかって言われても、価値がすぐにわからないでしよう？

—はい、わからないです。

そう。しかも価値つて変動するものだから、お亡くなりになった時の評価も、土地とかがどういったところにあるとか、どういった形をしているとかによつて変わってくる。立地のいい土地だと高く売れたり、ということもある。そうした価値を調べたりもしている。他にはお亡くなりになる前にできることもあって、お金を持っている人だったら、どうしておいたら一番子供たちに資産を残せるのかとか、事前に対策できることがないか心配されているおじいちゃんおばあちゃんも多いから、相談会やセミナーを開催することもある。私はまだ二年目だから、そんなに大したことはできないけど、簡単な仕事から覚えていつている。後

—採用？

新卒採用。うちの事務所、若手がやっていて。この人来てもらいましようとか決める立場じゃないけど、説明会とか。大学生とか専門学校に

通っている方に対して会社の紹介をしたり、リクルーターとして面談をしたりするのを、二年目から五年目の四人でやっている。

—そういうのって、割と先輩の方がやるものだと思うっていました。

そう、ある程度社歴が上の方がやっているイメージはあったんだけど、よく考えたら、私が就活生の時に参加した会社説明会で、雰囲気がいいなと思って憧れた先輩は、当時二年目でずっと仰っていて、歳が近い方が活躍されている姿も感じられて。それこそ就職活動やっていた時期も近いから、状況が似ている部分もあるからね。

—確かに、若い人の方が聞きやすい気がします。

—そうそう。だから説明会とかを若手で担当しているのだと思う。

—パソコンを使うことが中心の仕事だと思っていたんですけど、意外にコミュニケーション系（お客様や大学生と話すことも多い）なんですね。

—そうやね。パソコンも触るけど、コミュニケーション能力はめっちゃ求められるかも。事務所でよく言われるのが、技術とか知識は新人だからないのは当たり前。ただ、挨拶ができたり、お礼を言えたり、元気いっぱいでいることって、新人でもできることだって。お客様も、会社の社長をされている方々で、普通だったら二十代前半ではなかなかお会いできない方とお話させてもらっている。そこに行かせてもらえるのは、事務所の名前があるのももちろんだけど、若いし、経験も浅いことをわかった上でお客様は接してくださっているから。だからこそ、挨拶や、きちんとした返事をするのを大切にしている。わからないことがあったとしても誤魔化すのではなくて、調べてきますとお伝えして帰ってきて、調べてすぐ返事するとか、そういうことを事務所でも徹底している。だから、そこはめっちゃ求められるけど、そういう考え方は大事な

と思うし、共感しているからこそ、実際に行動にも移そうとできているんじゃないかな。

—何事にも大切ですよ。そういうことは多分。

—そうだと思う。

—そういう、今やっていることには、大学や高校での経験が活かされると感じたりしますか。

—勉強していたことっていうと、直接役立つのは簿記の知識ぐらいになってしまいかもしれないけど、コミュニケーションとかの部分は、高校の時の経験は大きかったかなって。立守はグループワークをすることも多いでしょう？

—多いです。

—発表どうしようかなとか、いっぱい考えるやん。授業だし、自然にやっていたけど、大学に入った時にこれができるのは、すごいことなんだったって感じた。パワーポイントとかも他の大学生はあまり経験がなかったりもして、なかなか作れないこともある。でもそういうのって働き出してからも重要で、イベントの準備だったり、何かを提案するときの発表資料を作ることになったりもする。そんな時でも、高校生の頃から触り慣れているから大きなアドバンテージになる。入社して間もない頃は内容の充実度は低いことがあっても、資料の形としては作れることも多かったりして、実はすごく力のつく経験をさせてもらっていたんだな、みたいな。

—やっぱり、いろんなこと経験するのが大切なんですかね。

—うん、経験したことは無駄にならないと信じている。どこかで役に立っている。

—今、試験勉強があるとおっしゃっていた（インタビューを行う予定を

決める際にLINEで教えて頂いていた) じゃないですか。今は何の勉強をされているのですか。

税理士試験。税理士になるために八月にある試験の勉強をしている。毎年一回しかなくて。何科目もあるうちの五科目合格しないと税理士になれへんくて。ただ、一回に五科目合格しないといけないわけではなくて、今年はこの科目だけ受けようとか、自分で選ぶことができるけど、合格率は各科目一五%を下回ることもあるくらい難しい。

—ええ、厳しい。

資格はなくても働けるけど、できる仕事は限られていて、お客様の申告書を作成しても最終的には、税理士の先生のお墨付きがないといけないかもしれない。もちろん、資格があった方ができることも増えるというのもあるし、お客様から、質問を受けた時に、何年経ってもわからないことばかりというのは問題があると思うから、いろんなことの勉強をしておかないといけないなって。

—就職してから税理士の資格を取ろうと思った感じですか。

就職先を決めた時に、税理士事務所で働くなら税理士を目指そうと思って、四回生の時から税理士の勉強を始めて、在学中にも試験を受けていてん。

—すごい。会社に入ってから勉強するというのがちょっと意外です。

私も思っていた。正直、疲れて眠くて全然勉強できない日もあるけど、事務所の先輩がしっかり時間を確保して勉強されていて。これはうちの事務所を選んだ理由の一つでもあるんだけど、事務所自体を自習室として解放してもらっていて、朝早く来て勉強したり、夜も遅くまで残って勉強したりする人もいる。休日に事務所へ行って、空き部屋を使っ

て勉強することもできる。今日も、多分勉強している先輩がいると思

う。でも、強制されているわけじゃなくて、自由に勉強できるようになっていて、勉強のスタイルは人それぞれだけど、先輩方が勉強している姿を見せてくださるから、続けやすいかな。

—周りに頑張っている人がいたら頑張れるのわかります。

人それぞれ懂れるポイントってあったりするでしょう？ 誰のこともいいんだけど、先生でも先輩でも誰でも。事務所の先輩は、勉強している姿だけじゃなく、お客様と接する姿勢であったり、仕事を丁寧にかけてくださったりとか、懂れる部分が多くて。そういうところを見せてくれる先輩方だから、先輩みたいになりたいとか、一緒に税理士を目指したいと感じている。それが今のモチベーションかな。

*

将来の目標

—将来、こうしたいなみたいなことはありますか。

目標はとりあえず税理士になることだけど、いろんなお客様の担当をしたいな。事務所での仕事にはなってしまうけど。今はまだ新人がやらせてもらえることから仕事を覚えていつている感じだから、できることも限られている。お客様も業種や規模によつて気を付けないといけないポイントも多かったりして、ベテランじゃないと担当することが難しかったり、経験を積まないとやらせてもらえないこともあるから、任せてもらえるようになっていきたいな。

*

過去と未来

—もし今高校生に戻れたら、何かしたいことや、高校生の時にやっついてよかったみたいなことはありますか。

あまり高校の時の悔いはなくて。それこそ三年生の時にいっぱいいろ

んなことをやらせてもらえたから。全部やっておいてよかった。忙しかったけど、全部いい思い出になっている。

―生まれ変わったらこれをしてみたいとかでも。

もうちよつと行事に参加していてもよかったかな。生徒会で、文化祭も裏方をやっている時間も結構あったから。体育祭も裏方をやっていたし。運動は苦手だから、結局見ていただけかもしれないけど。ははは。

―結構悔いなく過ごしていたんですね。

そうかもしれない。大きな悔いはないかな。心配性だから、「さっきのやつ、ちゃんと言っておけばよかった」とか「今のあれ正しかったかな、変なこと言ったかな」、みたいな日々の小さいことは気にしたりするけど。人生はなるようにしかならないと思うから、反省はしても後悔はしないようにしたいなって。ちよつと感覚的かなって最近自分でも思うんだけど。

―でもそういうところがいいところじゃないですか。

かな。だったらいいんだけど。

―色々お話を聞けて、ほんまに嬉しい。喋れるかなと心配していたんですけど、たくさんお話を聞くことができてよかったです。

よかった。

―今日はありがとうございました。

ありがとうございました。

【感想】

高校時代には、様々な部活動や生徒会活動に挑戦し、常にチャレンジ精神を持って取り組む姿がとても魅力的だと感じました。さらに、現在も税理士を目指して努力を続け、一步一步着実に前進している姿は本当にかっこいいと思います。私自身も、高校生活の中で多くのことに挑戦し、後悔のない日々を過ごすことで、将来の自信へとつなげていきたいと感じました。



右：語り手 中島綾香さん
左：聞き手 加守田茉季